

会 議 名	川西市地域公共交通会議 運行ルート等検討部会（第4回）		
事務局（担当課）	企画財政部政策推進室政策課		
開催日時	平成21年3月5日 18:30 ~ 19:30		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委 員	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所 北川博巳、 川西市コミュニティ協議会連合会 中村清秀、 明峰小学校区コミュニティ推進協議会 石井研二、 明峰小学校区コミュニティ推進協議会 藤井徳三、 阪急バス(株) 田中祥敬、 川西市企画財政部 角田幸雄、 川西市土木部 平井政治	
	欠席委員	緑台・陽明地区コミュニティ推進協議会 安井正弘、 兵庫県阪神北県民局県土整備部宝塚土木事務所 林健児、 兵庫県川西警察署交通第一課長 山下隆	
	事務局	本荘企画財政部政策推進室長、大屋敷政策課長、石田政策課課長補佐	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 検討事項 (1)市立川西病院循環バス(明峰地区コース)の試験運行計画(案)について【資料1】 3 その他 4 閉会		
会議結果	検討事項に沿って検討を行った。		

## 審 議 経 過

### 1. 開会

部会長：明峰地区のルート会議は今回で2回目となります。

### 2. 議事

(1) 市立川西病院循環バス(明峰地区コース)の試験運行計画(案)について【資料1】

部会長：

- ・全体会議では特に問題は無かった。
- ・前回からの変更点はありますか？

事務局：

- ・前回のルート会議からは、時刻表の表記以外、特にない。

部会長：

- ・明峰地区内を8の字で運行する場合の路線バスと逆方向案は？

事務局：

・反対側にもバス停はあるが、問題が多いため、路線バスにあわせ、今のバス停を利用するルートとなっている。

部会長：

- ・この運行ルート案で問題がないので、決定で良いでしょうか？

全員：

- ・特に問題なし。

部会長：

- ・では、安全性にも問題が無いようなので、この運行ルート案で決定とします。

委員：

- ・本日、このルートで今日走行した結果、59分に近い数字で回れることが確認できた。

委員：

- ・明峰地区内だけで17分かかるが、多田院等をカットしてもっと早くはできないか？

事務局：

- ・路線バスのバス停で全て停車するほうが、利用者にわかりやすい、バス停の利用者がいない場合はおそらく停車しないので、時間的に変わらない。

委員：

- ・明峰地区の人は、(多田院等で)全く利用しない。

委員：

- ・けやき坂・清和台ルートでは、特設のバス停が小さくて見えないので、不評。もう少し、大きく斜めにしてほしい。歩行者側からは見えにくい。

委員：

- ・明峰地区では既存バス停を利用するのか？

事務局：

- ・全て既存バス停を利用し、路線バスの時刻表の下に循環バスを明記する。

委員：

- ・既存バス停なら見やすいのでOK。

委員：

- ・料金はアンケートの結果に基づいて、と聞いていた。試験運行で200円/回となるが、200円で本格運行できるのか？300円となるのでは？

事務局：

- ・あくまでも試験運行は200円/回とし、利用促進を図りたい。採算性については本格運行時に検討する。

委員：

- ・本格運行で料金を上げるのは、利用者の反発をかう。

委員：

- ・明峰地区の広報はどうなっている？

事務局：

- ・PR計画については後ほど説明します。

事務局：

(運賃等についての説明)

部会長：

- ・なぜ200円/回と思われませんが、けやき坂・清和台の実績、覚えやすい料金等の理由と、アンケートで97%の方が200円/回までと、答えているため、200円/回としている。
- ・また利用促進の意味を含め、阪急グランドパス65の利用も可能とした。

委員：

- ・グランドパス65の利用は大きい。けやき坂・清和台ルートでは今でも使えないのか？

事務局：

- ・けやき坂・清和台ルートでは利用予測と、利用者の不公平感を考慮して使用不可としている。

藤井委員：

- ・今からグランドパス65を使える様にしたら、利用が増えるのでは？

委員：

- ・使用についての問い合わせや、要望は多い。

委員：

- ・本格運行の時も、この値段なのか？

事務局：

- ・本格運行時は、バスの便数や大きさ、経費などを考慮して料金を決める。
- ・300円/回を200円/回として利用が増えるのであれば、200円/回として、利用促進をはかりたい。

委員：

- ・値上げするのは、大変。乗車拒否にも繋がるのでは。

事務局：

- ・今整理中の利用者アンケートでは、「便利に利用できるのなら運賃が高くても良い」などの意見もある。そのような意見を合わせ、本格運行を考えて行く必要がある。

委員：

- ・試験運行では200円/回、本格運行では「上がる」を周知していないといけない。

委員：

- ・その辺は我々もちゃんと地元の説明が必要がある。

部会長：

- ・アンケート自由意見では、「赤字運行ならだめ」という人もいるし、600円、700円を払って乗り継いで病院へ行っている人は、「便利なバス」を必要としている。両方無視できない意見である。
- ・綿密に決める必要もあるが、今回は200円/回とします。

委員：

- ・既存路線バスの最低料金は210円、バス事業者として考えれば、実際は390円程度の区間となる。
- ・今回(試験運行で)は協力して、200円/回とし、グランドパス65の利用も可能にして、潜在需要を見たいと考えている。

委員：

- ・200円/回とした根拠は？

委員：

- ・けやき坂・清和台地区と同じでということではないのか。

委員：

- ・既存バスが210円。通常なら、390円、試験運行が200円、約2倍となるなら本格運行時の料金を地元で説明できない。

事務局：

- ・試験運行から、390円では試験運行も成り立たない。まずは、利用しやすい値段で利用者を増やしたい。

委員：

- ・安いから乗る、高いから乗らないでは、本格運行は挫折するのでは。

事務局：

- ・コミュニティバスのほとんどが採算がとれていない。採算をとるためには、ここでは500円～600円/回になるかも知れない。税金（補助）の投入も偏りがあるとはいえないと考える。

委員：

- ・調整は必要、その地域だけが恩恵を受けない様に、調整する必要がある。

委員：

- ・グランドパス65の影響は大きい。

事務局：

- ・試験運行では、まず乗ってもらうこと。そして、今後どうするかを考えて頂く必要がある。

部会長：

- ・コミュバスとしてわかりやすい運賃が良い。ゾーン性運賃等も考えられるが、まず、けやき坂・清和台地区と同じように、馴染んで貰うためにわかりやすい100円玉2枚(200円/回)とした。
- ・採算性には問題があるが、まずは乗ってもらうこと。バスに転換すると、交通事故が減ったりするかもしれない。
- ・また、健康になるかもしれない。そちら側から、行政負担が減るかもしれない。いろいろな可能性を秘めている。

委員：

- ・明峰地区はけやき坂・清和台地区より利用する人のアンケート結果が少ない、易くしても乗らないのでは。

部会長：

- ・利用予測でも赤字となりますか？

事務局：

- ・この試験運行は、バスの必要性を問うもので、現段階ではあまり採算等は考慮していない。
- ・本格運行するなら、採算をとるため、経費等は減らしていかないといけない。
- ・採算性を考えると、27人×5便（往復）×500円でも採算はとれないと思う。

事務局：

（PR計画についての説明）

- ・けやき坂・清和台地区では、自治会の協力で「チラシ」の各戸配布を行った。
- ・阪急バス（路線バス）内にポスターを設置した。
- ・明峰地区でも、今後イベント等でチラシの配布、周知をお願いしたい。
- ・5月の試験運行なので、4月上旬でチラシ配布をお願いしたい。

委員：

- ・明峰地区では、自治会加入者以外にも、チラシなどの配布は行っている所以協力はする。

委員：

- ・阪急バスのバス停には、貼ることができないのか？

委員：

- ・バス停に告知を貼る予定です。

委員：

- ・時刻表は、見難いので不評、色も目立たない。

事務局：

- ・時刻表は見やすいように改良を予定している、色合いについても検討する。

部会長：わかりやすい時刻表にしてください。他に何かありますか？

事務局：今後のスケジュールですが、3月18日の全体会議で最終決定とし、運輸局に申請を行います。順調であれば5月に試験運行開始となります。

部会長：他に無ければ本日はここまでとします。

3．閉会

以上

# 資料 1

平成20年度 川西市地域公共交通会議  
運行ルート等検討部会(第4回)  
平成21年3月5日(木)

---

## 市立川西病院循環バス(明峰地区コース) 試 験 運 行 計 画 (案)

---

平成21年3月

川 西 市

# — 目 次 —

1 試験運行の概要	1
1.1 背景	1
1.2 会議開催経過	2
2 運行計画（案）	3
2.1 試験運行概要	3
2.2 試験運行の計画	4
2.3 試験運行ルート（案）	5
2.4 試験運行時刻表（案）	6
2.5 バス停（案）状況	7
3 試験運行計画の考え方	8
3.1 バス停設置位置の考え方	8
3.2 運行日に関する考え方	9
3.3 試験運行台数、試験運行本数及び試験運行時間帯に対する考え方	10
3.4 運賃に対する考え方	13
3.5 使用車両（仕様）に対する考え方	14

# 1 試験運行の概要

---

## 1.1 背景

本市は、中・北部地域を中心に急な坂が多く、駅やバス停から離れたところまで住宅地が広がっており、高齢化に伴い、ますますこうした地域のモビリティを確保するための交通手段が求められている。さらに、東畦野地内に昭和 58 年に移転した市立川西病院へのアクセス交通に対する市民要望は強く、積年の課題となっており、平成 15 年 8 月に市民 3,000 人を対象としたアンケート調査を実施した結果、地域内を循環するバスや、市内公共施設や病院を結ぶバスに対するニーズが高かったことから、平成 17 年 2 月に川西市におけるコミュニティバス実証実験の試みを検討するため、「コミュニティバス運行検討委員会」を設置し、住民、交通事業者、ボランティア団体、行政などがそれぞれの立場からの幅広い意見を集めて、路線、運賃、運行ダイヤなどについての協議を行った。

この検討委員会においては、平成 18 年 3 月まで計 5 回の委員会が開催されたが、「本格運行の事業主体や採算性の不確実さ、各地区の意向などを考慮すると、本格運行をめざした実証実験を実施するのは、早計であると判断できる。」とし「川西市では高齢者や障害者などいわゆる交通弱者の病院などへのアクセスについて、コミュニティバスにこだわらない他の手段で検討されていくことを強く望む。」との総括が行われ、委員会は終了した。

しかし、その後も市民からの要望は強く、平成 18 年度に設置された「市立川西病院医療経営懇話会」の提言においても市立川西病院へのアクセス確保が盛り込まれた。

そこで、平成 20 年度においては、平成 15 年 8 月の市民アンケートにおいて、「市立川西病院へのバス運行が行われた場合には利用する」という回答が多かった、清和台地区(利用意向 清和台南 70%、清和台 55%)、けやき坂地区(48%)を対象に試験運行を実施することとし、同様に利用意向の高かった明峰地区(利用意向 51%)については、平成 21 年度に試験運行を行うこととした。

## 1.2 会議開催経過

### 平成 20 年度 川西市地域公共交通会議 （第 4 回） H20.12.26（金）

- ・ けやき坂・清和台地区コースの利用状況の確認。
- ・ 明峰地区コース運行ルート、地元素案ルートの確認。
- ・ 明峰地区コース運行ルートについては、運行ルート等検討部会で検討を進める。
- ・ 明峰地区住民を対象としたアンケート調査実施の決定。
- ・ けやき坂・清和台地区コースの利用者アンケート実施の決定。
- ・ 各アンケート調査（案）内容の確認。

### 平成 20 年度 運行ルート等検討部会 （第 3 回） H21.1.26（月）

- ・ けやき坂・清和台地区コースの利用状況の確認。
- ・ 明峰地区コース運行ルートについては、地元素案ルートを試験運行ルート案として検討を進める。
- ・ 明峰地区住民を対象としたアンケート調査（案）内容の確認。

### 平成 20 年度 川西市地域公共交通会議 （第 5 回） H21.2.17（火）

- ・ 明峰地区アンケート調査結果（速報）の報告。
- ・ 明峰地区コースの、試験運行ルート案及び時刻表案の確認。
- ・ 試験運行運賃は、アンケート結果で回答が多かった 200～300 円/回のうち、200 円の均一料金とし、利用者の促進を図るために阪急バスの高齢者用フリー定期券（はんきゅうランドパス 65）の使用も検討する。

## 2 運行計画（案）

### 2.1 試験運行概要

試験運行計画案の概要を「表 1 明峰地区コース試験運行計画概要（案）」に示す。

表 1 明峰地区コース試験運行計画概要（案）

試験運行目的地	明峰地区から市立川西病院まで	
試験運行主体	川西市	
試験運行事業者	阪急バス株式会社	
試験運行期間	平成21年5月～平成21年 9月（約5ヶ月）	
試験運行	ルート	市立川西病院～多田グリーンハイツ地区～明峰地区～多田グリーンハイツ地区～市立川西病院
	バス停	需要地域の概ね300m毎に設置
運行日	平日（月曜日～金曜日）ただし、祝日を除く	
運行本数	1日 5本（往復）	
運行時間	始発：7時台～最終：16時台	
運行距離	約19.25km	
所要時間	約59分	
料金	200円 均一料金（大人200円、小学生以下の子ども100円）	
使用車両	台数	1 台
	仕様	車イス対応27人乗り小型バス

## 2.2 試験運行の計画

以下に、「川西病院循環バス（明峰地区コース）」の試験運行ルート設定の基本条件を示す。

- ・ 明峰地区周辺と、市立川西病院とを結ぶルートとする。
- ・ 利便性が良くなるよう、アクセス部は、往復経路として、需要部は周回経路とし、1周を1時間程度以内、主要な片道乗車が40分程度以内とする
- ・ 買い物施設（西友、コープミニ、ノダヤ等）への利便性を考慮する。

試験運行ルートの概要は「図1 試験運行ルート（案）概要」のとおり。

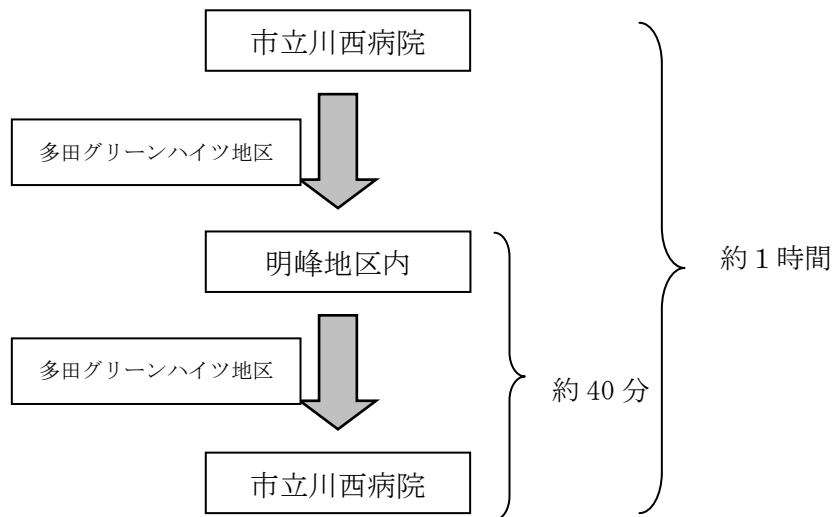


図1 試験運行ルート（案）概要

※図1 試験運行ルート（案）概要の区間時間は机上計算をもとにしている。

### 2.3 試験運行ルート（案）

検討結果を基にした「川西病院循環バス（明峰地区コース）」の運行ルート案を以下に示す。

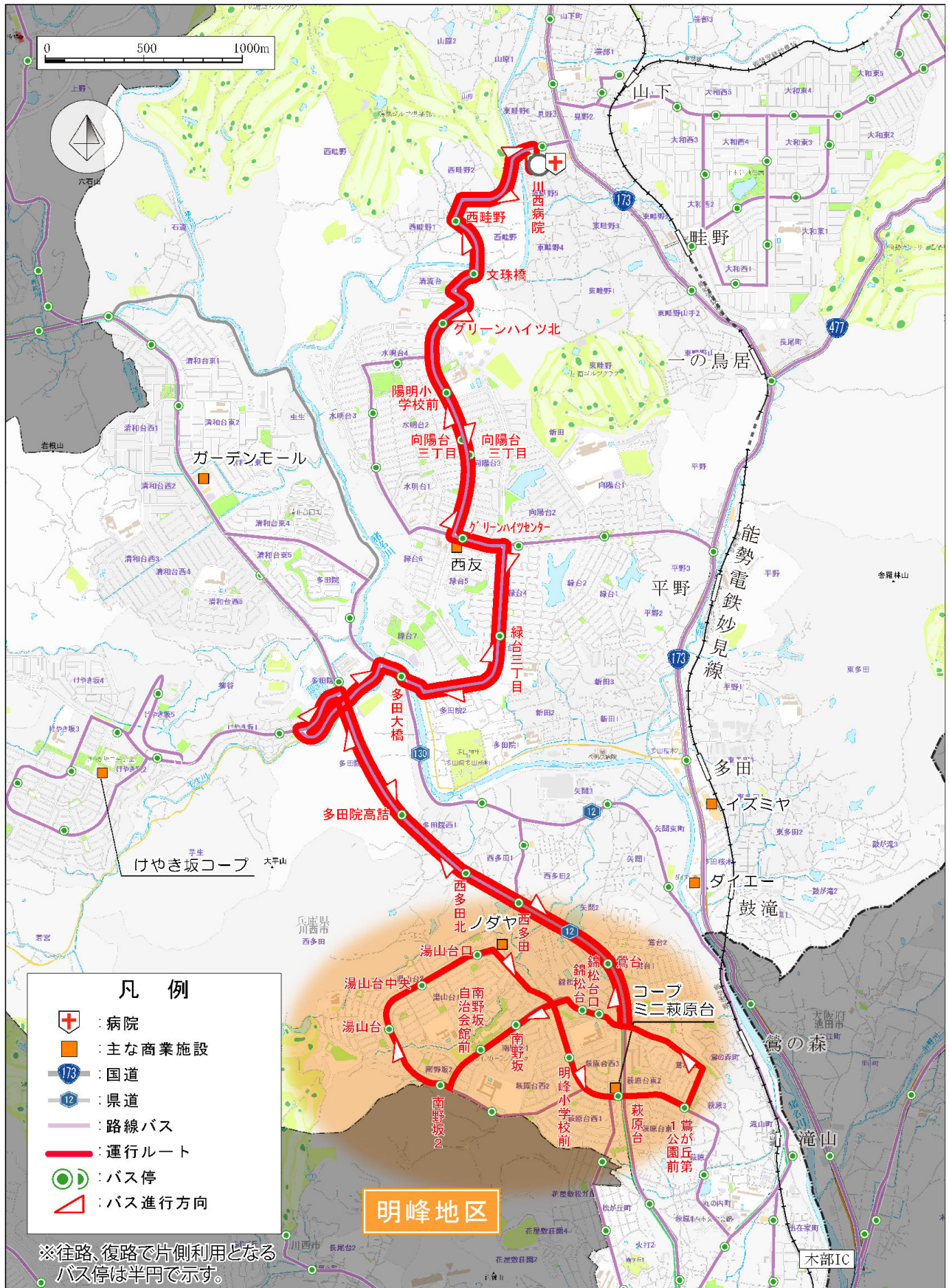


図 2 試験運行ルート（案）

## 2.4 試験運行時刻表（案）

「図 2 試験運行ルート（案）」での、時刻表を以下に示す。

運行本数は、1日5本とし、市立川西病院の診察開始時刻に始発の到着時間をあわせる。

また、利用者が覚えやすいよう同一バス停は、同一時間（分）での運行時刻とする。

1周の運行時間は約1時間となる。

停 車 場 所	所要時間	累積時間	運 行 時 刻（発 車 予 定 時 刻）				
			第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
1 川西病院			—	9:20	11:20	14:20	16:20
2 西畦野	0:02	0:02	—	9:22	11:22	14:22	16:22
3 文珠橋	0:01	0:03	—	9:23	11:23	14:23	16:23
4 グリーンハイツ北	0:01	0:04	—	9:24	11:24	14:24	16:24
5 陽明小学校前	0:01	0:05	—	9:25	11:25	14:25	16:25
6 向陽台三丁目	0:02	0:07	—	9:27	11:27	14:27	16:27
7 グリーンハイツセンター	0:01	0:08	—	9:28	11:28	14:28	16:28
8 緑台三丁目	0:01	0:09	—	9:29	11:29	14:29	16:29
9 多田大橋	0:02	0:11	—	9:31	11:31	14:31	16:31
10 多田院高詰	0:05	0:16	—	9:36	11:36	14:36	16:36
11 西多田北	0:01	0:17	—	9:37	11:37	14:37	16:37
12 西多田	0:01	0:18	—	9:38	11:38	14:38	16:38
13 鶯台	0:01	0:19	—	9:39	11:39	14:39	16:39
14 錦松台口	0:02	0:21	7:41	9:41	11:41	14:41	16:41
15 錦松台	0:01	0:22	7:42	9:42	11:42	14:42	16:42
16 南野坂	0:01	0:23	7:43	9:43	11:43	14:43	16:43
17 南野坂自治会館前	0:01	0:24	7:44	9:44	11:44	14:44	16:44
18 南野坂二丁目	0:01	0:25	7:45	9:45	11:45	14:45	16:45
19 湯山台	0:02	0:27	7:47	9:47	11:47	14:47	16:47
20 湯山台中央	0:01	0:28	7:48	9:48	11:48	14:48	16:48
21 湯山台口	0:01	0:29	7:49	9:49	11:49	14:49	16:49
22 明峰小学校前	0:02	0:31	7:51	9:51	11:51	14:51	16:51
23 萩原台	0:03	0:34	7:54	9:54	11:54	14:54	16:54
24 鶯が丘第1公園前	0:02	0:36	7:56	9:56	11:56	14:56	16:56
13 鶯台	0:03	0:39	7:59	9:59	11:59	14:59	—
12 西多田	0:01	0:40	8:00	10:00	12:00	15:00	—
11 西多田北	0:01	0:41	8:01	10:01	12:01	15:01	—
10 多田院高詰	0:01	0:42	8:02	10:02	12:02	15:02	—
9 多田大橋	0:05	0:47	8:07	10:07	12:07	15:07	—
8 緑台三丁目	0:02	0:49	8:09	10:09	12:09	15:09	—
7 グリーンハイツセンター	0:01	0:50	8:10	10:10	12:10	15:10	—
6 向陽台三丁目	0:02	0:52	8:12	10:12	12:12	15:12	—
5 陽明小学校前	0:01	0:53	8:13	10:13	12:13	15:13	—
4 グリーンハイツ北	0:01	0:54	8:14	10:14	12:14	15:14	—
3 文珠橋	0:01	0:55	8:15	10:15	12:15	15:15	—
2 西畦野	0:01	0:56	8:16	10:16	12:16	15:16	—
1 川西病院	0:03	0:59	8:19	10:19	12:19	15:19	—

備考  
 ・運行時刻（所要時間）は既存路線バス（阪急バス/発車予定時刻表2006年10月28日 改正）の時刻表を基に算出した

図 3 試験運行ルート運行時刻表（案）

## 2.5 バス停（案）状況

検討結果を基にした「川西病院循環バス（明峰地区コース）」のバス停（案）の状況を以下に示す。



※図表の番号は図 3 試験運行ルート運行時刻表（案）のバス停番号を示す。

図 4 各バス停の状況

### 3 試験運行計画の考え方

#### 3.1 バス停設置位置の考え方

⇒バス停間隔は「300m」を基本とする。

- ・ 試験運行ルート沿線の住宅や施設等の立地状況や道路状況、既存バス路線のバス停位置などを考慮して設置する。
- ・ 設置にあたっては、地域住民やバス事業者、道路管理者や交通管理者等の関係者及び関係機関と協議・調整を行う。

#### ■設定理由

高齢者の歩行速度×バス停までの許容平均徒歩時間＝高齢者が歩行可能なバス停までの距離

$$0.8\text{m/s} \times 3\text{分} \times 60\text{秒} = \text{約 } 150\text{m}$$

- ・ 高齢者の歩行速度：0.8～1.3m/s （表 2 高齢者等の移動距離）

資料：道路の移動円滑化整備ガイドライン（国土交通省 H15.1）

よって、バス停間隔は 150m の 2 倍の距離を基本とする。

表 2 高齢者等の移動距離

歩行速度 ①	歩行時間 ②	バス停までの距離 ③(=①×②)
・高齢者 : 0.8～1.3m/sec	3～10分	140～780m
・車いす(手動)使用者 : 1.1m/sec 程度		200～660m
・下肢障害者(杖使用) : 0.4～0.8m/sec		72～480m
・視覚障害者(白杖使用) : 1.0～1.1m/sec		180m～660m
・健常者 : 1.1～1.7m/sec		200m～1,020m

資料：「道路の移動円滑化整備ガイドライン」(国土交通省,H15.1)

#### ■参考資料（「川西病院循環バス」導入についてのアンケート調査結果より）

##### (1) 無理をしないで歩ける距離

- ・ 約 96% の人が 300m 程度（500m 程度以上を含む）の距離なら無理をしないで歩けると答えた。

対象設問：問 18(1) 無理をしないで歩ける距離

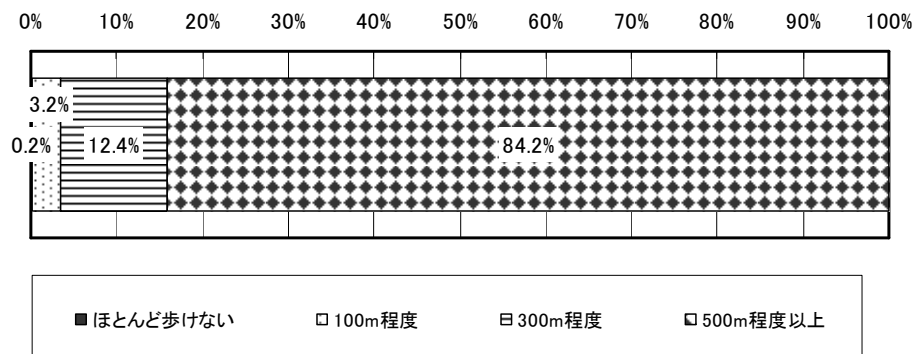


図 5 無理をしないで歩ける距離

### 3.2 運行日に関する考え方

⇒運行日は「平日」の運行を基本とする。

・運行日は、市立川西病院の診療にあわせ「平日」とする。ただし、祝日を除く。

#### ■参考資料（「川西病院循環バス」導入についてのアンケート調査結果より）

##### (1) 運行して欲しい曜日

- ・約 79%の人が月・水・金曜日を希望し、火・木曜日については約 65%の人が運行を希望している。
- ・土曜日についての運行希望は約 40%、日曜日については約 23%となっている。

対象設問：問 6(4) 運行してほしい曜日

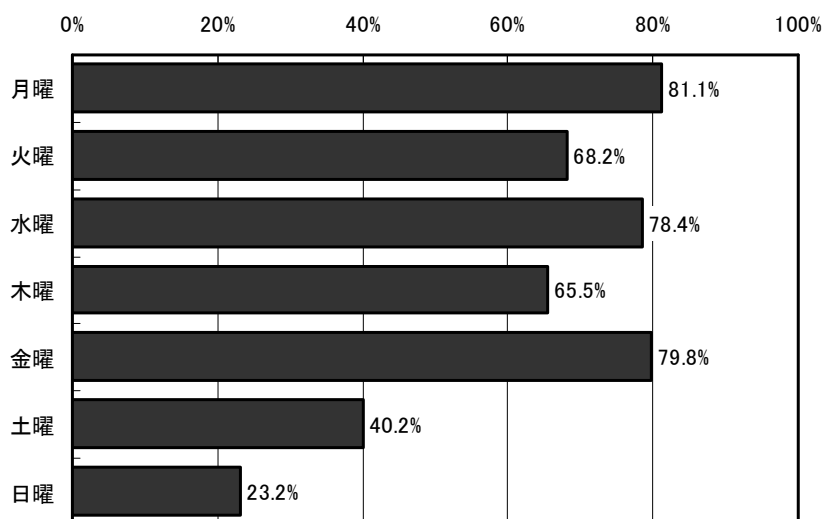


図 6 運行してほしい曜日

### 3.3 試験運行台数、試験運行本数及び試験運行時間帯に対する考え方

⇒試験運行は1台とし、試験運行本数は「1日に5本」を基本とする。

- ・試験運行本数は、所要時間を考慮して1日5本程度とする。

⇒試験運行時間帯は「午前7時から午後5時まで」を基本とする。

- ・試験運行時間帯の設定については、市立川西病院の診察時間や買い物施設等の利用を考慮した設定とする。

#### ■試験運行台数、間隔及び本数の設定理由

運行台数は試験運行のため1台とし、運行間隔については、各バス停発車時刻は利用者が覚えやすいように、「分」を揃えて設定するため、運行間隔は約2時間に1本となる。

この運行間隔から、1日5本の運行とする。

#### ■試験運行時間帯の設定理由

運行時間帯の設定については、市立川西病院の診察受付時間（8:00AM～11:30AM）に加え、買い物施設等の利用を考慮した設定とする。

■参考資料（「川西病院循環バス」導入についてのアンケート調査結果より）

(1) 希望する目的地までの所要時間

- ・約65%の人が、片道の所要時間は30分までを希望している。
- ・希望する片道の所要時間の平均は29.8分である。

対象設問：問6(1) 希望する片道の所要時間

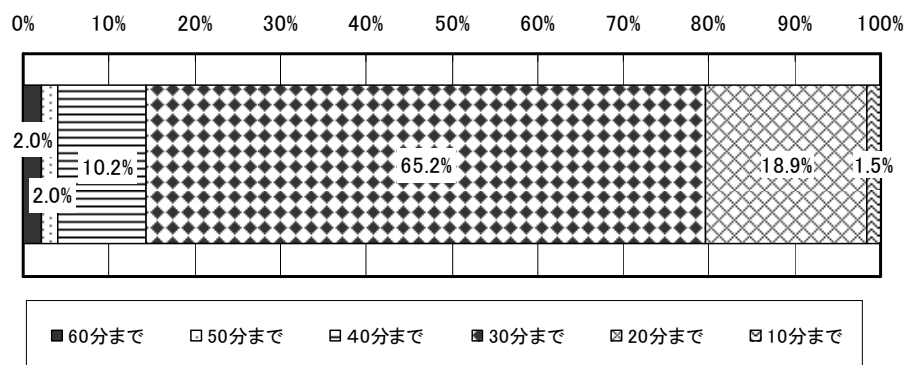


図7 希望する片道の所要時間

(2) 希望する運行本数

- ・約39%の人が、バスの運行本数1日8本（往復）以上を希望している。
- ・希望する運行本数の平均は、1日6.3本（往復）までである。

対象設問：問6(2) 希望する運行本数（往復）

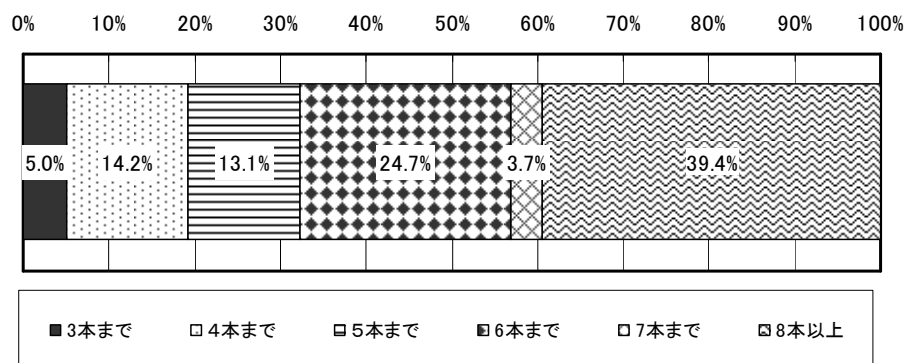


図8 希望する運行本数

(3) 希望する運行時間帯

運行時間帯は、始発午前7時から8時台及び最終午後5時から6時台での希望が多い。

対象設問：問6(3)a)b) 希望する運行時間帯

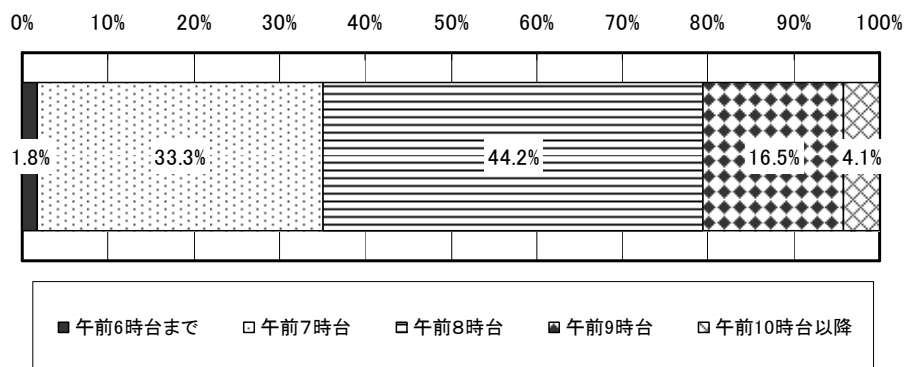


図9 希望する運行時間帯（始発）

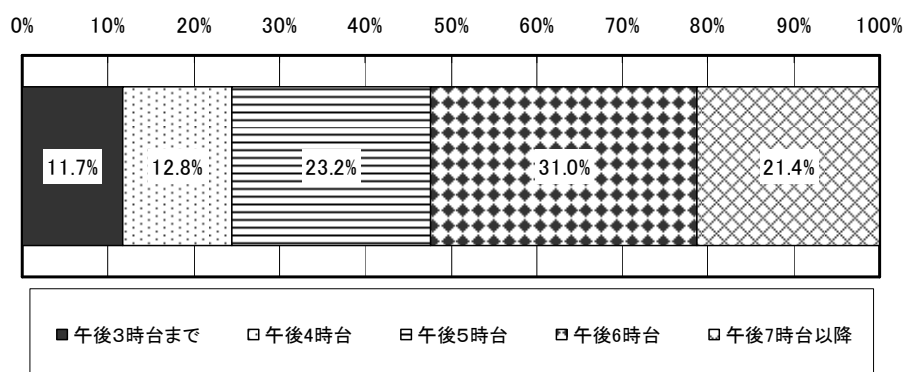


図10 希望する運行時間帯（最終）

### 3.4 運賃に対する考え方

- ⇒運賃は「均一料金」を基本とする。
- ⇒運賃は 200 円とする。(子供：100 円、未就学児については、小学生以上に同伴される幼児（1 才以上 6 才未満）2 名までは無料とする。)
- ⇒身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている方が、その手帳を呈示したときは半額とする。その介護者 1 名も半額とする。
- ⇒スルッと KANSAI 共通カード、PiTaPa 機能付カード及び ICOCA、阪急バス回数カードの使用を可能とする。
- ⇒阪急バスの高齢者用フリー定期券（はんきゅうグランドパス 65）の使用を可能とする。

#### ■設定理由

- ・ 利用者にとってわかりやすく、かつ利用しやすい運賃及び形態とする。
- ・ 阪急バスの高齢者用フリー定期券（はんきゅうグランドパス 65）の使用を可能とすることにより、利用者の促進を図る。

#### ■参考資料（「川西病院循環バス」導入についてのアンケート調査結果より）

##### (1) 希望するバスの運賃

- ・ 約 49%の人が、バスの運賃は「300 円まで」を希望している。
- ・ 約 19%の人が、バスの運賃は「200 円まで」を希望している。
- ・ 約 96.9% (2.6%+10.6%+14.7%+49.1%+19.9%)の人が、バスの運賃は 200 円まで (300 円～600 円までを含む) を許容範囲としており、約 77% (2.6%+10.6%+14.7%+49.1%)の人が、300 円まで (400 円～600 円までを含む) を許容範囲としている。
- ・ 希望するバスの運賃の平均は 318 円となっている。

対象設問：問 6(5) 希望するバスの運賃

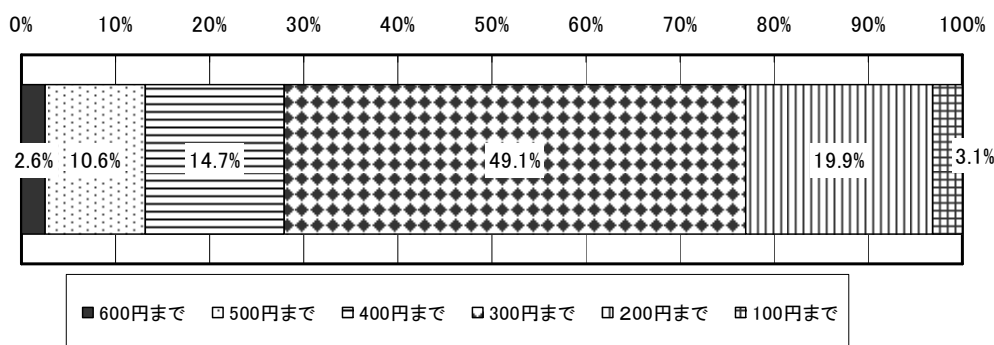


図 11 希望するバスの運賃

### 3.5 使用車両（仕様）に対する考え方

⇒試験運行に使用する車両は「車イス対応 27 人乗り小型バス」を基本とする。

- ・ 川西病院循環バス（けやき坂・清和台地区コース）試験運行で使用した車両を使用する。

#### ■ 設定理由

- ・ 使用車両は車イス対応型とする。
- ・ 川西病院循環バス（けやき坂・清和台地区コース）の試験運行で使用した車両を使用する。

#### ■ 参考資料（「川西病院循環バス」導入についてのアンケート調査結果より）

##### (1) 無理をしないで歩ける距離

- ・ 約 3.4%の人が「ほとんど歩けない」「100m程度」と答えた。

対象設問：問 18(1) 無理しないで歩ける距離

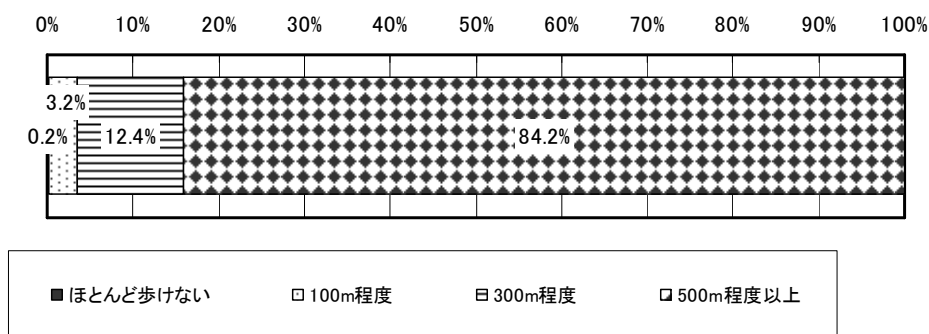


図 12 無理しないで歩ける距離

##### (2) 無理せず段差の昇り降り出来ますか

- ・ 1.2%の人が、一人での昇り降りが困難、または出来ないと答えた。

対象設問：問 18(2) 無理しないでできる段差の昇降

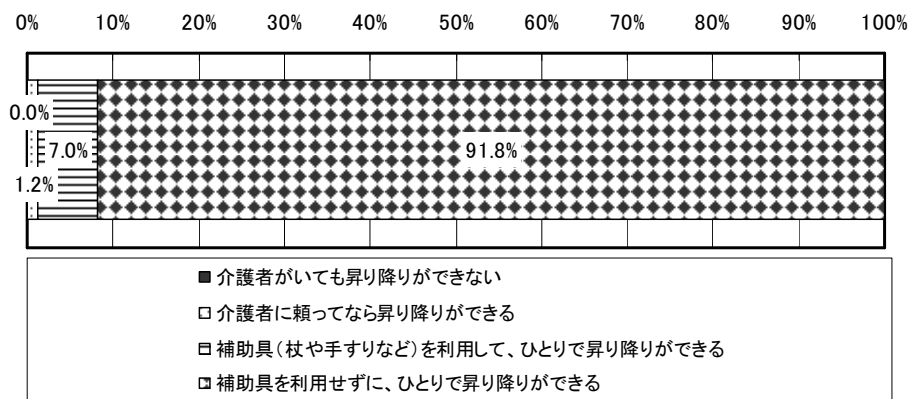


図 13 無理しないでできる段差の昇降

